

GYRO

ジャイロ

FIA MAGAZINE

VOL.
127

2019 FEB.

国際交流について、皆さんのジャイロスコップ(羅針盤)になりたいとの思いから、広報紙の名称を「ジャイロ」としています。

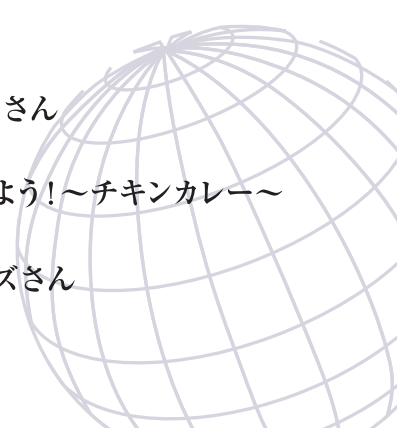


写真：(上右)スイス：木内祥子さん(千葉県教員)、(上左上)オランダ：© オランダ政府観光局 www.holland.com、(上左下)サモア：三村悟さん(JICA東北)
(下左)ガーナ：久野武志さん(JICA)、(下右上)タイ：(c)ASEAN-Japan Centre、(下右下)ネパール：岡本薫樹さん(株式会社リクルートキャリア/青年海外協力隊OB)

CONTENTS

- 01 Interviews with Foreigners
フォーチュネイト セイラム アドックポさん
- 03 福島県内のホストタウン
- 05 福島県国際交流協会は30歳!!
GYROで30年を振り返る
- 07 おかげさまで30周年を迎えました!
記念式典・講演会・フォトコンテスト

- 10 ふくしまで「暮らす。働く」
佐藤 ローザ マリーさん
- 11 世界を歩こう!～オランダ編～
中西柊斗さん、荒明由希さん
- 13 海外グルメ事情
ネパール料理を作ってみよう!～チキンカレー～
- 14 ぶらっとFukushima
祐希 ミッシェル ウインズさん
- 15 FIA Information



2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会。世界各地から多くの人々が日本を訪れることでしょう。1998年の長野オリンピック以来、日本で開催するこのスポーツの祭典を契機として、日本各地でも海外の文化を知るイベントや交流がさまざまな形で開催されています。今回は福島県内市町村がホストタウンとなっている国について特集します。

Interviews with Foreigners

フォーチュネイト セイラム アドゥクポさん



ガーナ共和国の首都アクラから車で3時間ほどのホ市出身。大学卒業後は首都アクラで小学校の社会科教師として勤務。その後、大学院で教育心理学を学び、JETプログラム※1のALT※2として猪苗代町へ赴任。任期終了後の2017年8月からリステル猪苗代でフロント業務を担当しています。

※1 The Japan Exchange and Teaching Programme.主に海外の青年を招致し、地方自治体、教育委員会及び全国の小・中学校や高等学校で、国際交流の業務と外国語教育に携わることにより、地域レベルでの草の根の国際化を推進することを目的としています。(一般財団法人自治体国際化協会HPより)

※2 Assistant Language Teacher.外国語指導助手。(一般財団法人自治体国際化協会HPより)



ガーナ共和国

アフリカ大陸の西部に位置し、コートジボワール、ブルキナファソ、トーゴと国境を接し、ギニア湾に面した国。周囲の国々はフランス語が公用語だが、英国の影響を受けたガーナは英語を公用語としている。チョコレートの原料となるカカオ豆が有名で、日本が輸入する約7割※はガーナ産。

※日本チョコレート・ココア協会HP「日本の主要カカオ豆国別輸入量推移」より

サッカー少年から教師の道へ

ALTとして日本へやってきたセイラムさんの小さい頃の夢はサッカー選手。ガーナは2018年にロシアで開催されたW杯には出場できなかったものの、2010年の南アフリカ大会ではベスト8だったサッカーの強い国。本当はサッカーがやりたかったけれど、教育熱心なお父さんからはサッカーよりも勉強をしなさいと言われて育ったそうです。カカオ農家の6人兄弟の3番目として生まれたセイラムさんは勉強に励み、教師になるために首都アクラの大学へ進学します。

野口英世博士に影響を受け

福島県の偉人、野口英世博士は黄熱病の研究中に病気にかかり、ガーナの首都アクラで亡くなりました。野口博士はガーナの学生にとっても人気があるようで、「貧困や障がい乗り越えて医学の道に進む姿が同世代の自分たちに重なることが理由かも。」とセイラムさん。セイラムさんも学生時代に大きな影響を受け、野口博士のように国際的に活躍する人になりたいと思っていました。日本へ行ってみたくて思っていたものの、ガーナでは日本語に触れる機会がなく、来日時は会話もまったくできなかったそうです。2014年8月に来日し、いざ生活すると、日本語ができないと買い物もできず、「ガーナに帰ろう。」と思ったことも。コミュニケーションには日本語が必要—そう思ったセイラムさんは独学で日本語を勉強します。学校の授業では生徒たちに英語で接しますが、放課後は生徒たちと一緒に部活動をしながら日本語を教わりました。

日本での就職活動

ALTとして充実した毎日を過ごしていた頃、セイラムさんに転職が訪れます。2016年1月、猪苗代町がガーナのホストタウンとして登録したのです。母国ガーナと猪苗代町が新しい関係を築いたことで、もう少し猪苗代町に住みたいと思い、就職活動を開始。その結果、語学が生かせるリステル猪苗代に就職が決まり、ALTの任期が終了した翌日からホテルマンに転身します。「日本のホテルはガーナと比べると対応がとても丁寧でこまやか。日本のカスタマーサービスはすごいと思う。自分はまだまだ勉強中。」

ガーナと日本の懸け橋に

東日本大震災当時、セイラムさんは学生で、福島県の様子はニュースで見て知っていました。自身のフェイスブックでは福島元気な姿を発信していて、福島は安全だということもこれからも伝えていきたいと考えています。「将来はガーナと日本をつなぐような仕事がしたいと思っています。2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、ガーナだけではなく世界中からもリステル猪苗代にたくさんお客様が来ると思うので、お客様が困らないように、そして気持ちよく過ごせるように情報を提供したり、案内をしたいと思っています。」ガーナと日本の懸け橋として、これからも活躍が楽しみです。

世界の“ノグチヒデオ”

○ 学校編

ペルーの首都リマにはノグチヒデオ学園がある。ペルーに渡った日本人移民が、日本語や日本の文化・習慣を子弟に継承していくために、移住先に設立した日本人学校の1つで、1965(昭和40)年に創立したが、1987(昭和62)年に、ペルーゆかりの偉大な日本人であり、困難に立ち向かいながらも希望を失わない姿勢を生徒に学んでほしいとして、「ノグチヒデオ学園 (Colegio Hideyo Noguchi)」と改名した。現在の生徒の大半は非日系だが、外国語の一つとして日本語を教えている。また、エクアドルの首都キトの北東にあるグアジャバンバにもヒデオノグチ小学校がある。



リマのノグチヒデオ学園

写真：福島県国際課

○ 通り編

ブラジルのリオ・デ・ジャネイロのラモス地区、エクアドルのグアヤキルには「ノグチヒデオ通り」がある。

○ 公園編

ブラジルのカンピーナスには「野口英世広場」という記念公園があり、公園内の野口英世博士の胸像は、1967(昭和42)年に福島県人会がブラジル移民50周年記念行事の一つとして福島県と多数の篤志により建立した。また、ガーナの首都アクラには野口英世博士記念日本庭園がある。

“福島県内のホストタウン”

ホストタウン

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催により来日する参加国の選手や観客等を、日本各地の自治体がホスト役としておもてなしし、人的・経済的・文化的な相互交流を図り、大会後もさまざまな形で交流を深めていくことを目的としています。2018年10月31日現在、福島県内では福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、田村市、猪苗代町の6つの自治体が登録しています。

復興「ありがとう」ホストタウン

岩手県、宮城県、福島県の被災3県の自治体が対象で、震災時に支援していただいた海外の国・地域のホストタウンとして、被災地の復興状況を世界に発信することを目的としています。ホストタウンとなった国と住民との交流を行い、震災からの「復興五輪」の機運を盛り上げています。2018年11月2日現在、21件の自治体が登録されています。

ホストタウン

猪苗代町



写真:久野武志さん(JICA)

ガーナ

野口英世博士が最期を迎えた地。以前から文化交流やガーナの高校生が来町した際のホームステイ等を行っており、交流が続いています。

(2018年10月31日現在)

北塩原村

復興「ありがとう」ホストタウン



台湾

震災の被害を知った台湾舞踏家協会が被災者を激励するために村内で慈善公演を開催。2012年からは中学生を台湾へ派遣する事業をとおして現地の中学生との交流を実施しています。

(2018年11月2日現在)

喜多方市

復興「ありがとう」ホストタウン



写真:会津喜多方国際交流協会

アメリカ

1988年、オレゴン州ウィルソンビル市との姉妹都市締結以降、中高生の研修使節団の受け入れと派遣を隔年で実施し、市民レベルでの交流を重ねてきました。東日本大震災時に、ウィルソンビル市のホストファミリーや市民から激励や寄付が寄せられ、多くの避難者や喜多方市民が勇気づけられました。(2018年11月2日現在)

会津若松市

ホストタウン



写真:©ASEAN-Japan Centre

タイ

タイのバンブー社関連企業との間で、太陽光発電事業の協定を締結。タイと日本のボクシングチームの合同トレーニング等を予定しています。(2018年10月31日現在)

郡山市

ホストタウン



写真:©オランダ政府観光局 www.holland.com

オランダ

明治初期の国営開拓事業第1号となる安積開拓・安積疏水開さく事業に貢献したオランダ人技師の縁により1988年6月にブルメン市と姉妹都市提携を締結し、交流を継続しています。

(2018年10月31日現在)

ホストタウンのはじまり

1998年の長野オリンピックの開催を機に、地元が応援する国、地域を決め、文化や言葉を学んだり、その国の子どもたちや選手らと交流したりして異文化への理解を深める「一校一國運動」。1994年に広島アジア大会で行われた公民館単位で応援する「一館一國・地域の応援事業」をモデルとし、草の根レベルの交流として国際オリンピック委員会からも高い評価を受け、その後のオリンピックなどにも引き継がれています。



福島市

ホストタウン



写真:木内祥子さん(千葉県教員)

スイス

2013年8月、復興支援のためスイスの時計メーカーによるアクロバットショーが行われたことをきっかけに交流が始まりました。その後も、スカイスポーツ国際交流フェスティバルや世界的に有名な音楽イベントの開催等、交流を深めています。(2018年10月31日現在)

飯舘村

復興「ありがとう」ホストタウン



写真:©ASEAN-Japan Centre

ラオス

ラオスの学校建設支援のために子供たちが募金活動を始め、2011年2月に職員がラオスのドンチャイ村を訪問し、絵本を現地の学校へ寄贈。東日本大震災後はドンチャイ村民が祈りをささげ、中学校や校長から激励の手紙が送られました。(2018年11月2日現在)

南相馬市

復興「ありがとう」ホストタウン



「ジブチ」写真:船尾修さん(JICA)

ジブチ・台湾・米国・韓国

ジブチのイスマイル・オマール・ゲイ大統領が『TIME』誌で南相馬市長を知ったことがきっかけとなり、大統領及び国民からのお見舞いの言葉や義援金が寄せられました。また、台湾三重北區扶輪社等からは給食用運搬車両1台の寄付を受け、台北市内で開催された中学生野球交流会に南相馬市内の中学生が招待されました。他にも米国、韓国から支援を受けました。(2018年11月2日現在)

田村市

ホストタウン



写真:中村栄太さん(田村市復興応援隊)

ネパール

田村市と地域活性化に関する包括連携協定を締結しているFSGカレッジリーグには、ネパール人留学生が多く在籍しており、スポーツや文化面での交流に取り組んでいます。(2018年10月31日現在)

いわき市

ホストタウン



写真:三村悟さん(JICA東北)

サモア

2015年5月に第7回太平洋・島サミットを開催したことを契機として、2016年3月にサモアでは国内初の名誉領事館が開設されました。(2018年10月31日現在)

本宮市

復興「ありがとう」ホストタウン



イギリス

2012年7月、ロンドン中心部に福島庭園を整備。2014年12月に本宮市に子どもが安心して遊べる場所を確保するためにスマイルキッズパーク(愛称:プリンス・ウィリアムズ・パーク)を整備。翌年にはウィリアム王子が訪問。プリンス・ウィリアムズ・パーク「英国庭園」とロンドンの「福島庭園」が姉妹庭園協定を締結しました。(2018年11月2日現在)

共生社会
ホストタウン

パラリンピアンとの交流をきっかけとした共生社会の実現のためにユニバーサルデザインの街づくりや心のバリアフリーへ取り組み、大会のレガシーとして大会後も発展的な取り組みにつなげることを目的としています。
※2018年12月28日現在、福島県内の登録はありません。

GYROで30年を

福島県国際交流協会は30歳!!

公益財団法人福島県国際交流協会は1988(昭和63)年11月1日に設立しました。『ジャイロ』はその3か月後、1989(平成元)年2月に機関誌として第1号を発行し、情報版、広報紙と形を変えながら現在に至っています。30年の歩みをいくつかの『ジャイロ』で振り返ってみましょう。

名称「GYRO」にこめられた思い

国際交流を進めて行く上では、相手となる国や文化、交流内容など多種多様であり、過去から現在、現在から未来を見据えていく姿勢が必要です。このため、21世紀の新たな時代に向けて交流のかなたに一人ひとりが何を目指し、何ができるのか、多くの方々と共に考え行動してまいりたいとの趣旨から、自らの方向を見失うことなく、ゆるぎない国際交流とするためにジャイロスコープのジャイロをとって当協会の機関誌の名称としました。また、国際交流に携わる上で欠くことの出来ないと思われる次の四つの視点の意味も含めました。

- G・・・「グローバル」な視野から
- Y・・・「躍動的」に
- R・・・「理想」を持ち
- O・・・「思いやり」の心で



第1号(機関誌)

平成元年2月発行
記念すべき第1号は協会が設立した3か月後に機関誌として発行。当時は機関誌と情報版の2つに分けて発行していました。



第5号(機関誌)

平成3年2月発行
1990年10月1日～31日までの1ヶ月を『ふくしま国際交流月間』と定め、県内各地でそれぞれの主催団体が17事業を開催。当協会主催の「ふくしま国際交流館」ではChit Chat Aussie!や英語人形劇などを行いました。



第12号(機関誌)

平成6年10月発行
1993年10月に福島県知事がカナダ・ブリティッシュコロンビア州を訪問し、同州首相との間に『人材育成計画に関する同意書』を取り交わしました。



1988
設立

1989

1990

1991

1992

1994

1995

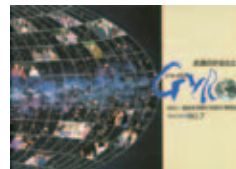
第3号(機関誌)

平成2年1月発行
1999年9月20日～24日に開催された「ふくしま国際交流祭」の様子を特集。県や県内の姉妹都市締結市町村などが主催する12事業が県内各地で開催されました。



第7号(機関誌)

平成4年3月発行
2月8日～10日まで只見町で「第2回ジュニアウィンターフェスティバル」が開催され、東京のアメリカンスクール イン ジャパンの子供たちと地元の中学生在が「只見ふるさとの雪まつり」を通して交流しました。



第31号(情報版)

平成7年8月発行
オーストラリア出身のマゴ・アリソンさんが初代・国際交流員として当協会に配置。マゴさんは「マゴの国際交流英会話講座」で初心者のための初級コースと中級コースを開講しました。



国際交流員

福島県の国際化推進のため、1989(平成元)年からJETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)により受け入れています。現在、県国際課所管の国際交流員は3名で、うち1名は当協会に勤務しています。当協会に勤務した歴代の国際交流員は右のとおりです。

期 間	氏 名(敬称略)	出 身 国
1995.7～1997.7	マゴ・アリソン(ヘルムズ)	オーストラリア
1997.7～1999.7	ノーマン・イートン	カナダ
1999.7～2001.7	アーチ・モチヅキ	カナダ
2001.7～2004.7	スコット・アルガード	カナダ
2004.7～2007.7	サンディー・シェー	カナダ
2007.8～2010.8	ウィリアム・マクマイケル	カナダ
2010.8～2013.8	ケビン・シャ	カナダ
2013.8～2015.3	ビビアン・ヒ	カナダ
2015.4～2018.8	大屋 直美	カナダ
2018.8～	祐希 ミッシェル ウインズ	カナダ

福島県国際交流協会 歴代の国際交流員からの コメント

福島県国際交流協会で活躍した方々からお祝いのコメントをいただきました。在籍当時は大変お世話になりました。



第15号(機関誌)

平成8年3月発行
1995年9月29日～10月1日に『カナダフェア』を開催。県警音楽隊によるカナダ国歌や国体のテーマソング等の演奏で開会。「カナダ・大自然の写真展」、「赤毛のアンとキルトの世界」等、来場者をカナダの世界へいざないました。



第20号(機関誌)

平成11年3月発行
当協会設立10周年記念事業として「第6回地域国際化、うつくしまネットワーク会議」を開催。21世紀に生きる私たちの国際化をテーマとし、『21世紀の世界と日本』と題した平野次郎氏の講演等を行いました。



Vol.73

平成14年7・8月号
中国語による生活相談窓口が常時開設となりました。それまでも中国語による生活相談は週に1度実施していましたが、より多くのニーズに応えるため、専門スタッフを配置しました。



Vol.105

平成22年4月号
「国際理解ユースカレッジ」がスタート。国際理解教育の新たな担い手育成を目的とし、国際理解に関わる研修及び実践を年7回実施しました。



Vol.116

平成26年8月号
「平成25年度事業報告～震災復興の切り口から振り返る～」として、大きな成果のあった5事業について報告しました。

1996

1997

1999

2001

2002

2009

2010

2011

2014

2019

第43号(情報版)

平成9年8月発行
ニュージーランドフェアを8月22日～24日に四季の里(福島市)で開催。『海外との地域間交流事業』の3番目の交流地域(国)としてこの前年に決定したことが契機となりました。ニュージーランド先住民のマオリ民族舞踊が披露され、3日間の来場者は23,419名でした。

第67号(情報版)

平成13年7月号
ふくしま未来博が7月7日～9月30日に開催され、「うつくしま未来博国際交流ゾーン・ワールドビレッジフレンドシップハウス」を運営しました。週ごとに展覧団体が変わりながら、海外の民族楽器演奏や海外の手工芸品を作る体験型ブースを展開しました。

Vol.100

平成21年1月号
2008(平成20)年11月に設立20周年記念事業として式典及び記念講演会を開催。俳優・タレントとして活躍されている関口知宏氏を迎え、『旅～出会いとふれあい。国籍、民族、人種を越えて～』と題した講演会はとても好評でした。

Vol.109

平成23年8月号
東日本大震災後の発行。世界から福島へ温かいメッセージが届けられました。また、ジャイロの震災復興版として、『がんばろう福島』を発行しました。

Vol.127

平成31年2月号
平成最後の発行は協会設立30周年記念号。福島県内の外国出身者を対象に『世界に伝えたい「私の福島」フォトコンテスト2018』を開催し、その入賞作品や表彰式の様子を報告。



スコット・アルガードさん

(在籍:2001.7~2004.7)
現在はアメリカ東海岸の名門校ウエスリアン大学の助教授として東アジア研究を担当し、ご活躍されています。

30周年おめでとうございます。私は福島県国際交流協会です3年間もお仕事をさせて頂けたことを大変光栄に思います。入国管理法改正、大規模の外国人労働者の移民が話題に上がる遙か前、私が協会にいた2001年頃から、これから先の社会的現象を見込んで、福島県の地域社会の多様化、福島県における所謂「多文化共生」の推進に協会一丸として力を注ぎ、私自身も県内の高校、大学、公民館などを回って「多文化共生出前講座」を担当しました。課題を提供しながらも地域社会の声から教わるという「学び」の双方向性を肌で感じ、自身の世界観が大きく広がりました。私の「福島」は今でも私の研究や教務の中で生きていて、やはり福島県国際交流協会が熱心な、優れた方達とお仕事させて頂けた経験が、今度は違う形で日本における日常、草の根社会と取り組む私の本業に直接繋がったと確信しています。



ウィリアム・マクマイケルさん

(在籍:2007.8~2010.8)
現在は福島大学国際交流センター副センター長及び経済経営学類助教としてご活躍されています。

30周年おめでとうございます!初めて福島県に赴任する事を知った時、日本地図を取り出すまで福島がどこにあるのかさえ分からなかった私は、国際交流員として3年間、草の根レベルでの活動に携わらせて頂いたおかげで、地域との絆と言うかけがえのない財産を頂きました。また、出張講座などで県内を周りながら、福島の良い情景や、暖かい県民性に心から情愛を感じる様になりました。これからも、自他共に認める「福島の大ファン」として、国際交流員時代に築いた財産を原動力に、大学から世界に向けて福島を発信できるよう、頑張り続けたいと心から思っています。本当にありがとうございました。

おかげさまで30周年を迎えました!

30年前の1988(昭和63)年、日本はバブル景気最盛期でしたが、当時の福島県は外国人旅行者も少なく、世界はまだまだ遠く感じられた頃。そのような時代に、さまざまな団体様や個人の方々からのご理解を得て集めた出捐金を基本財産として誕生しました。

30周年の節目にあたり、当協会では記念式典及び講演会、フォトコンテストを開催しました。

公益財団法人 福島県国際交流協会 設立30周年記念式典



後列左より伊藤様、布田様、井浦様、小林様、岩下様、澤田様、福島青年会議所様、会津坂下町国際交流協会様
前列左より斎藤様、鈴木様、今野理事長、鈴木副知事、大槻様、松本様、福島県建設業協会様

2018(平成30)年11月4日(日)にラコパ福島(福島市仲間町)にて、当協会設立30周年記念式典を開催しました。当協会理事長 今野順夫の式辞の後、福島県知事 内堀雅雄様(代読 副知事 鈴木正晃様)より祝辞を頂戴しました。

また、当協会賛助会員として長らく継続してご支援いただいている方々で、ご出席いただいた12名の方々へ当協会理事長より感謝状を贈呈しました。

なお、長年にわたり、当協会への寄附を取りまとめていただいている一般社団法人福島県建設業協会様へ特別感謝状を贈呈しました。

(※裏表紙に関連記事)



賛助個人表彰



賛助団体表彰



特別表彰

❖ 賛助会員(個人) 26名(敬称略、五十音順)

安倍寛、井浦眞、石崎俊一、伊藤孝之、伊藤陸郎、岩下哲雄、梅宮傳、大井正直、大川原公年、大槻恵美子、黒澤宣昭、小林伸三、斎藤一郎、斎藤馨、佐々木紀代、澤田喜雄、鈴木恵子、田辺英憲、早田千家子、平野マチ子、布田節子、松本敏江、松本寿美、村上保良、山口力利、吉田眞理

❖ 賛助会員(団体) 7団体(敬称略、五十音順)

会津喜多方国際交流協会、会津坂下町国際交流協会、鏡石町国際交流推進協議会、株式会社進和クリエイティブセンター、公益社団法人福島青年会議所、郡山ユネスコ協会、常磐共同火力株式会社

❖ 特別表彰(敬称略)

一般社団法人福島県建設業協会

祝 辞

福島県知事 内堀 雅雄 様



公益財団法人福島県国際交流協会設立30周年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

貴協会は、昭和63年の設立以来、長きにわたり、多文化共生の理解促進、県内在住の外国人や、国際交流活動を行う市民団体への支援など、本県の国際化を推進する中心的な機関として重要な役割を果たしてこられました。

歴代役員を始め、協会の活動に多大な御尽力を頂きました関係の皆様へ、深く敬意を表する次第であります。

県内に居住する外国籍県民の数は約13,000人に達し、更に増加傾向にあることに加え、その出身国も多様化しております。

こうした中、より多くの外国人の方々に本県の現状や魅力を理解していただくとともに、県内に在住される方々が安心して生き生きと暮らすことができる環境づくりは非常に重要であり、貴協会におかれましては、本県の更なる国際化を大きく後押しされますことを願っております。

この記念すべき節目の年を契機として、貴協会がますます発展されますことを御祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

御挨拶

公益財団法人福島県国際交流協会
理事長 今野 順夫

当協会は、世界各国との相互理解と友好親善を深め、県民レベルの国際交流を推進するため、1988（昭和63）年11月に設立され、ここに設立30周年を迎えることとなりました。この間、当協会の活動に多大なるご支援をいただいた関係者の方々に心より感謝申し上げます。

この30年、あらゆる分野でグローバル化が急速に進み、異文化交流や国際友好親善から始まった当協会の役割も、現在では多文化共生が中心となるなど大きく変化してきました。

今後も社会の変化により国際交流の日常化がさらに進むことが予想されます。

当協会では、今後も社会の潮流を捉えながらさまざまな取り組みを進めてまいりたいと考えていますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

安田菜津紀さん記念講演会

写真で伝える世界、東北の“今”



記念講演として、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんの講演会を開催しました。『写真で伝える世界、東北の“今”』と題した講演では、ご自身の国内外での活動について分かりやすくお話いただきました。日曜朝のテレビ番組の生出演後に、東京から駆けつけていただき、安田さんの飾らないお人柄と聞き手と同じ目線での語り口はとても感動的でした。「陸前高田市では『船上カメラマン』になることも。」という安田さんの意外な素顔も。なお、安田さんには講演会前に、フォトコンテストの審査員長として、表彰式のプレゼンターも務めていただきました。



参加者からの質問には、ご自身の体験も踏まえて回答いただきました。

交流会

記念式典にご出席された方々と、ささやかではありますが交流会を開催しました。皆さま、今後どうぞよろしくお願いいたします。



世界に伝えたい「私の福島」 フォトコンテスト2018表彰式



福島県内の外国人の皆さんを対象に故郷(出身国)や世界に伝えたい福島の魅力や暮らしを伝える写真とメッセージを募集したところ、インスタグラムやフェイスブックなどから181点もの投稿がありました。最優秀賞1点、優秀賞3点、入賞5点が選ばれ、審査員長の安田菜津紀さんから賞状と副賞が手渡されました。



受賞した6名の方が表彰式に参加されました。
左から 黎さん、レザさん、マーリさん、程さん、ギャビンさん、ミッシェルさん

最優秀賞



「Hope for good harvest」
程 同軍さん[中国]

優秀賞



「15:40」
ミッシェル・クルーガーさん
[南アフリカ]



「Ouchi-juku Snow Festival」
ギャビン・キーン・カルヴァーリョさん
[オーストラリア]



「Insyah Allah you'll find your Way」
レザ・アフマッド・ファクリザルさん
[インドネシア]

入賞



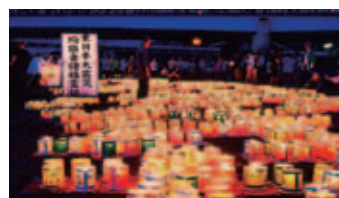
「Train Spotting」
マーリ・ジーン・テイラーさん
[アメリカ]



「Vermillion Sky」
ダニエル・ディミトラコ
ポロスさん[カナダ]



「鉄分多いの、休日の過ごし方」
徐 立さん[中国]



「福島灯籠流し 花火大会」
黎 永楊さん[中国]



「吊るし雛」
信濃 満枝さん
[ブラジル]

第二の故郷「福島」への想いがあふれる素晴らしい写真をありがとうございました

ふくしまで
「暮らす。働く」

さとう 佐藤 ローザ マリーさん(スイス出身)

ふくしまで「暮らす。働く」ステキな人にお話を伺います。今回はスイスのグラウビュンデン州クール出身の佐藤 ローザ マリーさんです。



福島県に住むようになったきっかけは？

高校卒業後、ジュネーブで国家公務員として働いていました。もともと語学が好きだったので、25歳の時に英語を学ぶためにイギリスへ短期留学しました。その時に語学学校へ通っていたのですが、日本からイギリスの大学に留学していた夫と出会い、結婚後は夫の実家のある福島県へ来て37年になります。

日本の印象は？

ジュネーブに住んでいる時に柔道を習っていました。通っていた教室には日本の大学に柔道を学びに行った先生たちがいて、その先生たちと国際結婚した日本人妻が3人いました。語学に興味があったので、日本で生活したことがあるスイス人に日本語を話してもらったり、日本人妻たちの日本語での会話には聞き耳をたてていました。日本語は東京の語学学校で1年間学んだだけなので、福島県で生活する中で覚えていきました。兄弟たちは日本に遊びに来ると電線の多さに驚いていますね。スイスでは地下を通すので、空に見える電線は珍しい光景なんですよ。

福島での生活は？

専業主婦として過ごしていましたが、来県した頃はまだ外国人の嫁が珍しい時代でしたので、公民館での料理教室や語学を教えたこともありました。義父母と同居だったのですが、ちょうど自宅を建てる計画をしていた頃に結婚したので、2世帯にしてもらったりととても良くしてもらいました。義父が亡くなった後、東日本大震災の頃は義母の介護をしていました。スイスの方がネガティブな情報が多くて不安はあったけど、スイスに帰るといことは考えられなかったし、良くしてもらった恩返しだと思っていました。今は自宅で馬のしっぽで作るアクセサリーを作っています。ネットで販売していますが、忙しい毎日を楽しんでいます。

6人兄弟で上と下に挟まれて育ったので、自分の意見を通すよりそれぞれの意見を尊重し、調整するようなタイプと自己分析されていましたが、日々のちょっとしたことをプラスに考えて毎日の生活を楽しんでいらしかったです。

スイス連邦

ヨーロッパのほぼ中央に位置し、面積は九州とほぼ同じ大きさで、フランス、ドイツ、オーストリア、リヒテンシュタイン、イタリアと国境を接し、公用語が4つ(ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語)ある。毎年1月にスイス東部のダボスで開かれる世界経済フォーラム年次総会、通称「ダボス会議」は、世界を代表する政治家や実業家、市民団体や学識経験者、文化人などのさまざまな分野の世界的リーダーが一堂に会して討議する場として注目を集めている。





世界を歩こう!

オランダ編

オランダの国土は日本の九州とほぼ同じ大きさで、その約4分の1は海面より低いポルダーと呼ばれる干拓地です。2018年8月からオランダの大学へ留学している福島大学の二人にオランダを紹介してもらいます。

オランダのハンザ大学に通う、愛知県出身の22歳です。福島大学からの交換留学生(1年間)として、現在はビジネスについて勉強しています。アクティブなことが好きで、留学も“大学生のうちに色々経験したい”、“海外の大学で勉強してみたい”という想いで決めました。オランダでしか得られない経験が日常に溢れており、毎日がとても充実しています。



なかにししゅうと

案内人 中西 柊斗さん
(福島大学理工学群共生システム理工学類4年)



写真: ©オランダ政府観光局 www.holland.com

ゴッホ美術館

世界的に有名な画家「フィレンセント・ファン・ゴッホ」。そんな彼のコレクションを心行くまでお楽しみいただけるのがこの「ゴッホ美術館」です。「夜のカフェテラス」をはじめとする有名な作品の数々が眠っています。



写真: ©オランダ政府観光局 www.holland.com

アムステルダム国立美術館

オランダの芸術と歴史の旅をコンセプトにしたコレクションが数多く展示されている国内最大級の美術館。写真撮影こそ禁止されていますがスケッチをすることが可能です。一味違ったユニークな鑑賞を体験してみたいはいかがでしょうか。

マウリッツハイス美術館

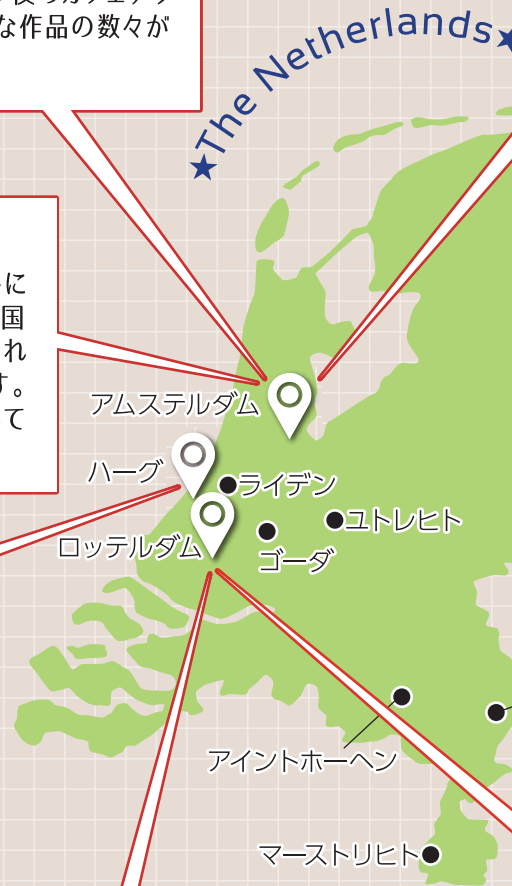
17世紀、オランダ黄金時代の絵画の本場であるここには、光と影の魔術師と呼ばれるフェルメールとレンブラントの作品をはじめとして、世界的に有名な数多くの作品が展示されています。どんな作品があるのか足を運んでみては!?



写真: ©オランダ政府観光局 www.holland.com

デルフト

伝統的な古都の雰囲気漂う人気の観光地。白と青のコントラストが美しい陶器「デルフト焼き」が有名です。世界的にも評価の高い窯元が並んでいます。





あらあけ ゆうき
案内人 荒明 由希さん
(福島大学人文社会学群
人間発達文化学類4年)

福島県福島市出身の荒明 由希です。今、ハンザ大学でInternational Facility Management(ビジネス関係)を勉強しています。オランダは「身長の高い方が多い」という印象があります。水路が張り巡らされているオランダのベニス「ヒートホールン」でポートクルーズをやりたいです。

交換留学派遣学生

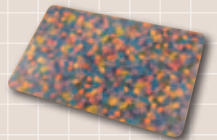
福島大学では各学生交流協定締結校へ学生(大学院生を含む)を派遣しています。留学期間は原則1年間もしくは半年間で、派遣先大学によって語学レベル等の留学条件があります。派遣される学生は2年次以上が対象で、書類選考及び面接で選抜されます。

人口より多い?

オランダはなんと「自転車の数>人口」という不等式が成立する国。自転車専用道路が街の至る所に存在し、自転車無しでは生活できないと言っても過言ではない程、日常生活に必須なものです。購入せずともレンタルをすることができ、私は、12ユーロ(約1,500円)/月で借りています。

オランダの美術館をたくさん楽しみたい人のために…

「オランダの美術館をたくさんまわりたい!」という方にお勧めなのがこのMuseum kaartです。このカードを購入すると一年間オランダのほとんどの美術館を無料で見てまわることができます(一部使えません)。



Gourmet

チーズ

オランダといえばチーズ。メジャーなものからユニークなものまでチーズ好きにはたまらないラインナップとなっており、様々な種類のチーズを楽しむことができます。値段も日本に比べてお手頃です。スーパーでも棚いっぱいにはチーズが並んでいます。



ストループワッフル

オランダの発祥のワッフルです。固焼きのワッフルの間にキャラメルソースが入っています。そのままかぶりついてもおいしいのですが、ホットドリンクのカップの上に乗せてキャラメルを溶かして食べると甘いキャラメルがとろけてまた新しい食感に出会うことができます。



キベリング

マーケットや屋台などで気軽に楽しむことができる、鱈のフライです。ソースをつけて食べるのが主流で、「中はジューシー、衣はサクサク」の揚げたてキベリングをご堪能下さい。あまりのおいしさにほっぺたがおちてしまいます。



アンネの家

皆さんが一度は耳にしたことがある「アンネフランク」。アンネの隠れ家に入ることができ、博物館として公開されている今は、戦争の恐怖や平和の尊さを感じることができる観光地です。



写真: ©オランダ政府観光局 www.holland.com

ブールタンク要塞

ドイツとの国境に面するオランダ北部のフローニンゲン州に位置しています。この要塞は上空から見ると綺麗な星型になっています。広場にはカフェやレストランなどのお店が並び、街並みがとても綺麗です。



写真: ©オランダ政府観光局 www.holland.com

キンデルダイク (ユネスコ世界遺産登録)

オランダと言えば風車。19基もの風車が立ち並ぶ様子はまさに絶景の観光スポットです。バスや水上バスを使っていくことができます。





ネパール料理を 作ってみよう! ~チキンカレー~

カレーと言えば皆さんはどこを想像しますか?大航海時代にインドからヨーロッパへ渡ったカレーは日本でも人気の料理です。インドの隣国、ネパール出身の大高うまさんにネパール風のカレーを教えてください。

おおたか
大高 うまさん

ネパールのカイラニ町出身。日本人のご主人と福島で暮らし始めて16年、福島の桃が大好きな素敵な奥様です。



材料(2~3人分)

タマネギ 1個
鶏肉(モモ、ムネどちらでも可)..... 500g
チキンマサラ* 大さじ1杯
ガラムマサラ 大さじ1杯
ターメリック 小さじ1杯
唐辛子パウダー 適量
(好みに合わせて調整する)
おろしニンニク 大さじ1杯
おろしショウガ 大さじ1杯
トマトペースト 大さじ5杯
サラダ油 大さじ2杯

塩 適量(好みに合わせて)
パクチー 適量(好みに合わせて)

*ネパールやインド製造のチキンカレー用の粉等数種類の香辛料入り。

作り方

- 1 タマネギを刻み、鶏肉を一口くらいの大きさに切りそろえる。
- 2 フライパンで①のタマネギをサラダ油で炒め、次に鶏肉を炒める。ターメリックを入れる。
- 3 チキンマサラとガラムマサラ、唐辛子パウダーを投入し、焦げないように気をつけながらさらに炒める。
- 4 おろしニンニク、おろしショウガを入れ混ぜながら少し炒める。
- 5 トマトペーストと塩少々を入れ、混ぜ合わせ、20分くらい煮込んで完成。好みでみじん切りのパクチーを入れる。

ネパール連邦民主共和国

インドと中国(チベット自治区)国境を接する細長い内陸国で、世界最高峰のエベレストを含むヒマラヤ山脈等8,000メートル級の山々が連なる世界有数の山岳国としても有名。言語はネパール語で、国民の8割以上がヒンドゥー教徒、約1割が仏教徒。ネパールは親日国としても知られており、1956年の国交樹立以来、各種交流等、伝統的な友好関係を築いている。



写真:田中浩平さん(青年海外協力隊ネパール会)

私たちは、賛助会員(団体)として協力しています。

(平成30年7月~12月末受付分)

三和工業株式会社	東北建設株式会社	南相馬市国際交流協会
会津喜多方国際交流協会	中島村国際交流協会	株式会社三宅新聞店
会津坂下町国際交流協会	伊達市国際交流協会	玉川村日華友好協会
白河市国際交流協会	福島市国際交流協会	ふくしま青年海外協力隊の会
郡山次世代ユネスコ協会	公益財団法人福島県産業振興センター	株式会社トーカン
福島県商工会議所連合会	川俣町国際交流協会	福島県農業協同組合中央会



福島県に住んでいる外国出身者に
自分のお気に入りの福島を紹介してもらいます。



ぶらっと Fukushima 私の お気に入り ふくしまの円盤餃子

はじめまして！祐希です。8月に来県して半年が経ちました。私は食べることが大好きなので、福島ではいろいろなものを食べたいと思っています。

私の母は日本人なので幼い頃から日本語に親しんでいたし、長期休暇は母の実家の群馬県で過ごすこともありました。東京外国語大学への留学で驚いたことは留学生の国の多さ。寮での私の隣人はエジプト出身でしたし、まさか日本で世界中の人と出会えるなんて思わなかったです。

餃子はラーメン店でラーメンと一緒に食べることもありましたが、1皿5〜6個ぐらいでした。「福島の有名な食べ物のひとつ」とは聞いていましたが、円盤餃子は数が多いのでビックリ！とてもおいしかったので、今度は両親や家族をお店に連れて来たいです。



紹介者 ゆうき 祐希 ミッシェル ウインズさん
カナダ・プリティッシュコロンビア州バンクーバー市出身。プリティッシュコロンビア大学でフランス語と日本語を学び、2015年には東京外国語大学へ一年間の交換留学の経験がある。2018年8月より国際交流員として当協会へ着任。



餃子の照井本店 (福島市)

先代が中国で食べた餃子を日本で試行錯誤して作った餃子は皮から手作りのこだわり餃子。フライパンに円を描くように並べて焼く餃子は円盤餃子と呼ばれ、見た目もきれいで1皿で存在感があります。本店には足湯もあります。

郡山ユネスコ協会

株式会社福島県中央計算センター

福島民報社
<http://www.minpo.jp/>

会津土建株式会社

日本赤十字社福島県支部

学校法人 国際総合学園
FSGカレッジリーグ

福島市日本中国友好協会

福島県南土建工業株式会社

会津バスグループ
会津トラベルサービス株式会社

新白河国際教育学院

福島県国際理解教育研究会

(公財)AFS日本協会 福島支部

国際ソロプチミスト郡山

田村市国際交流協会

法務大臣告示校:福島日本語学院

株式会社 クサカ印刷所

磐梯町国際交流協会

陽光社印刷株式会社

にほんまつ地球市民の会

福島移住女性支援ネットワーク(EIWAN)

有限会社 エンドースクリーン

(公財)福島県国際交流協会は4つの基本方針に基づき事業を実施しています。

基本方針



※当協会は平成30年11月
創立30年を迎えます

- 1 多文化共生による地域づくりを推進します。
- 2 多様な主体とともに国際交流・国際協力活動を推進します。
- 3 グローバル社会で活躍できる人材を育成します。
- 4 海外での風評の払拭に向けて、福島の実状を正確に伝えます。
- 5 財源の確保に努め、健全な運営基盤の確立を図ります。(第5期運営基本計画より抜粋)

賛助会員を募集しています

当協会は、国際交流を通じて地域の活性化とより豊かな県民生活を実現するため、さまざまな事業を行っています。当協会の趣旨に賛同し、会費という形で当協会の活動をサポートしてくださる「賛助会員」を募集しています。

■年会費

個人会員 3,000円/□
団体会員 10,000円/□

■振込先

公益財団法人 福島県国際交流協会
郵便局口座[02130-2-15560]

■会員の特典

- ① 当協会主催事業をはじめとした国際交流・協力に関わるさまざまな情報を掲載した広報紙「ジャイロ」(年2回発行)をお届けします。
- ② 当協会所蔵の書籍や資料、ビデオを無料で借りることができます(一部貸出しできない本もあります)。
- ③ 団体会員については、国際理解出張講座を負担金(1講座につき7,000円以上)3,500円でご利用いただけます(旅費込)。
- ④ 団体会員については、広報紙「ジャイロ」で団体名をご紹介します。

■所得控除

当協会への賛助会費は、税制上の優遇措置があります。

なお、寄附金も募集しています。

詳しくは、当協会HPをご参照いただくか、直接お問合せください。

寄付受納式を開催しました

2018年11月13日(火)、平成30年度福島県優良建設工事表彰を受賞された20社の皆様より、当協会の国際交流活動へご賛同いただき、総額100万円のご寄附をいただきました。本当にありがとうございました。



ご寄附いただいた団体様(敬称略)

株式会社菅野土建、滝田建設株式会社、株式会社渡部工務所、富士工業株式会社、滝谷建設工業株式会社、株式会社山一緑化土木、矢祭建設株式会社、多田建設株式会社、株式会社共立土建、株式会社長田建設、大沼林産工業株式会社、菅野建設工業株式会社、株式会社尾形土建、昭和建設工業株式会社、株式会社志賀建設、久米工業株式会社、石川建設工業株式会社、有限会社丸中建設、福浜大一建設株式会社、株式会社三崎組

当協会の研修室利用のご案内

当協会の研修室は無料で利用することができます。研修室の空き状況及び利用方法等の詳細については当協会までお問い合わせください。

利用条件: 国際交流等に関する目的で非営利事業の使用であること
利用時間: 祝日を除く火～土、8:30～17:00

外国出身者のための相談窓口・電話による通訳サービス

当協会では、外国出身者のための相談に多言語で対応しています。また、外国出身者が役場等でさまざまな手続きをする際、電話で通訳します。

■英語・中国語・日本語

火曜日～土曜日 9:00～17:15

■タガログ語・ポルトガル語・韓国語

木曜日 10:00～14:00(但し、第4・5木曜は事前予約が必要)

[相談専用] TEL 024-524-1316
FAX 024-521-8308
E-mail ask@worldvillage.org

こちらJICA福島デスクです!

こんにちは! 星明彦です。JICA海外協力隊の2019年度春募集が受付を開始しています。興味がある方はぜひ応募してください。

受付期間: 2019年2月13日(水)～

2019年4月3日(水)正午締切

※要請の公開は順次行います。

全ての要請公開は3月4日(月)となります。



公益財団法人 福島県国際交流協会

TEL 024-524-1315

FAX 024-521-8308

E-mail info@worldvillage.org

〒960-8103 福島県福島市舟場町2-1

福島県庁舟場町分館2階

福島県国際交流協会

検索

http://facebook.com/fiainfo/

